



数々の文化が生まれた渋谷から、「すしのこ」の新たな食文化を創造
11月25日から12月1日まで渋谷駅で屋外広告を掲出
～次なるブームを！新定番レシピ、誕生するか？～



豊臣時代から伝統と革新を紡ぐ醸造酢メーカー、タマノイ酢(株)(本社:大阪府堺市 代表取締役社長:播野貴也、以下当社)は、11月25日～12月1日まで、ロングセラー商品「すしのこ」の新たな魅力を発掘するため、渋谷駅ハチ公口駅舎壁面に広告を掲出いたします。

「すしのこ」は1963年の発売以来、手軽に本格的なすし飯を作ることができる調味料として、多くのお客様に愛されてきました。これまでも、SNSでの声に応え、人気アニメコンテンツとのコラボパッケージを販売するなど、お客様の声をヒントに商品展開を行ってまいりました。また、近頃「すしのこ」の使い方は広がりを見せており、その多様性に我々も驚いております。「こ育てに、悩んでいます。」というキャッチコピーに多様化する「すしのこ」の使い方に悩む当社の気持ちを込めさせていただきました。本広告では、より自由で創造的な「すしのこ」の活用方法を皆様に投げかけ、「すしのこ」の新しい可能性を問い、皆様と一緒に新たな食文化の創造を目指します。



※掲載イメージ

■広告概要

- ・掲出期間 : 2024年11月25日(月)～2024年12月1日(日)
- ・掲出場所 : JR渋谷駅 ハチ公改札外
- ・注意事項 : 駅及び駅係員へのお問い合わせはご遠慮ください

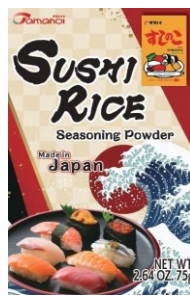
■渋谷に掲出する背景

渋谷駅ハチ公広場は多様な文化が生まれ、国際的な観光スポットとしても知られています。SNSでの情報発信力が高く、新しい文化の発信地として知られる渋谷だからこそ、「すしのこ」＝「すし飯」という既存概念を超えた斬新なアイデアが集まることを期待しています。本広告を通じて、皆様から寄せられたお気に入り「すしのこ」の使い方(＝推しすしのこ)を参考に新たな食文化を創造し、次世代へと繋いでいきたいと考えています。

■「すしのこ」について

パッとふりかけ、サッとまぜるだけで、簡単に美味しいすし飯ができあがる、世界初の粉末すし酢。パックご飯や残りご飯でもべたつかず、おいしいすし飯に仕上がります。現在世界50カ国近くで販売されており、海外では日本の伝統絵画「浮世絵」をイメージした海外版すしのこパッケージが好評を博しております。今回の広告は、「やきそばのこ」「きゅうりのこ」「ポテトのこ」など、すし飯以外の様々な料理に「すしのこ」をかけるユニークなデザインになっています。これは、SNSで話題になった「すしのこポテトチップス」の組み合わせのように、既存の枠にとらわれない、自由な発想で「すしのこ」を活用していただきたいというメッセージが込められています。

【広告使用画像】



▲海外用すしのこ



※使用方法のイメージです。実際に販売はしていません

■会社概要

社名 : タマノイ酢株式会社
所在地 : 〒590-0940 大阪府堺市堺区車之町西1-1-32
代表取締役社長 : 播野 貴也
創業 : 1907年(明治40年)6月
事業内容 : 醸造酢、粉末酢、各種調味料、
レトルト食品および菓子・健康飲料などの製造・販売
URL : <https://www.tamanoi.co.jp/>



▼お問い合わせ先▼
タマノイ酢株式会社 広報担当

(大阪) 吉田 TEL:072-238-1022 e-mail: kouhou@tamanoi.co.jp
(東京) 上村 TEL:03-3203-6940 e-mail: tkouhou@tamanoi.co.jp

